

『ひとつずつ いいね！で確認 火の用心』

～令和元年秋の火災予防運動～



「こども園ひがしどおり幼年消防クラブ」によるアトラクション

空気が乾燥し、火災の危険性が高くなる秋を迎え、火災予防啓発のため、青森県秋の火災予防運動（期間10月21日（月）～27日（日））が行われました。初日である10月21日（月）、東通消防署前で防火パレード出動式が行われました。「こども園ひがしどおり幼年消防クラブ」による元氣いっばいのアトラクションが行われた後、一斉に車両点検を行い、村内への防火の呼びかけに出動しました。

これから日ごとに寒さが厳しくなり、暖房機器などの使用が増え、火災が発生しやすい時期を迎えます。火の元には十分注意しましょう。

秋の恵みに満面の笑顔！

～東通小学校1年生栗拾い～



栗拾いを楽しみました

秋晴れとなった10月24日（木）、村営第二牧場内にある栗農園で東通小学校1年生44名が栗拾いを体験しました。

栗農園は、東通村地区総代連合会（会長・吉田昭美 入口部落総代）が、村の観光産業の活性化を図ることを目的に、平成16年から17年にかけて1,200本の栗の木を植樹したもので、実りの秋を迎え、昨年引き続き、児童の皆さんが栗拾いを楽しみました。

児童たちは、大きな袋などの入れ物を持ち、元氣いっばいに斜面を駆け回って栗を探しました。



汗だくで栗拾い！



大きいの見つけ！

児童の皆さんは、大きなイガ栗を見つけては、中から栗を取り出し、持ってきた袋にいっぱい集めていました。

子ども達の賑やかな笑い声が秋晴れの栗農園内に響きわたり、爽やかな一日となりました。

子どもたちの環境・エネルギー教育のために教育副教材寄贈



11月1日（金）、東北電力（株）東通原子力発電所（鶴田真孝所長）から、東通小・中学校を対象に環境・エネルギーに関する教育副教材が寄贈されました。

同社はこれまで、3月25日の「電気記念日」や、10月26日の「原子力の日」にちなみ、図書や実験器具などの環境やエネルギーに関する多くの副教材を寄贈しています。42回目となった今回は、実験器具など計15点を寄贈いただきました。

今回の実験器具などを含め、これまで寄贈いただきました副教材は、当村の次世代を担う子どもたちが環境やエネルギーについて学び、健全な心身をはぐくむために活用させていただきます。

原子力の日

1956年10月26日に、日本が国際連合の専門機関の一つである国際原子力機関へ参加したこと、また、1963年10月26日に、茨城県東海村の日本原子力研究所の動力試験炉が、日本で初めての原子力発電に成功したことから、1964年に「10月26日」を原子力の日とすることが閣議決定し、制定されました。